

支え合うきよせ委員会（清瀬市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体）

第8回 地域資源・ニーズ把握部会（A部会）記録

日時	平成29年11月22日（水） 14時30分～15時30分	場所	市役所第1・2委員会室
出席者	内田部会長、田中副部会長、金川委員、田島委員、名古屋委員、福嶋委員 生活支援コーディネーター：鍵和田、鈴木 事務局：田中係長、吉村		

1 本日の報告事項・議題

- ・「支え合い情報ファイル」「支え合い手帳」について
- ・地域団体との意見交換会について
- ・その他
- ・今後の予定

2 「支え合い情報ファイル」「支え合い手帳」について

内田部会長より支え合いファイル・支え合いノートについて報告があった後、意見交換を行う。

- ・支え合いファイルは70%程度完成している。完成後は、配布した団体を把握するためにナンバリングを行い、生活支援コーディネーターが中心となって配布する。配布にあたっては、委員にも協力を依頼する場合がある。
- ・支え合いファイルは毎年更新するものではない。資料が変わった団体があれば、目安として2年くらいで資料の更新を呼びかけていく。そうした対応は生活支援コーディネーターが行っていく。
- ・支え合いノートは、年内を目途に生活支援コーディネーターが配布する。
- ・地域団体等との意見交換会を行った4地域については、出された課題に対する回答と併せて支え合いファイル・支え合いノートをお渡しする。なお、出された課題に対する回答については、事務局、内田部会長、鍵和田が作成する。
- ・老人会23団体への配布については、12月7日午後に行われる老人会の会長会が考えられる。参加については小野委員へ相談する。

3 地域団体との意見交換会について

A部会資料「地域団体等との意見交換会まとめ」を用いて鍵和田より報告あり。特徴的な共通課題、対応が必要な課題等を共有した後、意見交換を行う。

- ・意見交換会の開催時間については、2時間程度実施した会があったが、全体としては1時間半を目安に開催していく。
- ・意見交換会については、既に開催した4団体との継続的な連携を含め、他の地域での意見交換会の開催も目指していく。
- ・意見交換会で出された様々な課題については、支え合うきよせ委員会で解決を目指す場合や市へ提言を行う場合、関係課に問い合わせをして対応を確認する場合などが考えられる。課題を解決したという成果が多くの人目に届くような工夫を継続的に検討していく。
- ・個人情報の取り扱いや管理方法が地域の中で共通課題となっていることがわかった。部会として勉強会を開催することで、H29年5月の個人情報の法改正に関する情報の共有が図れるほか、今後の活動に役立つ情報を提供できると考えられる。こうした取り組みを来年度の事業計画に位置付けていく。

#### 4 その他

- 子供 SOS にちなみ、高齢者の支えあいを支援できる方については、その方の自宅にわかるようなステッカーを作成してもよいのでは。他グッズとして、支えあいリング等を検討。次年度どのような仕  
組みでできるか検討したいが、予算要求が 11 月までのため来年度予算に入るかは未定。来年度の事業計画に取り組みを明記する。

#### 5 今後の予定

##### (1) 本会開催日程

- 2月21日（水）13時半～ コミュニティプラザひまわり会議室 4

##### (2) 部会開催日程

- 12月15日（金）9時半～11時 情報労連東京福祉センター「友遊」